

刊夕 日六十月三



休日 日曜 祭日
一月 月 二十五日
二月 月 二十五日
三月 月 二十五日
四月 月 二十五日
五月 月 二十五日
六月 月 二十五日
七月 月 二十五日
八月 月 二十五日
九月 月 二十五日
十月 月 二十五日
十一月 月 二十五日
十二月 月 二十五日

ベスト、セラフズを説
むと云へば善く賣れる
本を讀むと云ふこと
ストは善く、最上、至
極力と云つた様なもの
普通に通ベストを盡し
手と云ふことだ

長男三三が取返さず
と爐内の火から火を點じて同
家出入口に於て爆発せしめ忠
士は内臓露出の重傷を負ひ即
時入山病院に搬送され手當を
施されたが十六日午前一時
遂に絶命した原因は忠士は去
る三年十月からとめと同様
居たるも合議の上離縁し磐崎
村長倉の小野田炭礦合宿所に
移り採炭坑夫をしてゐたもの

で内縁の妻として無理心中を
企てたもの忠士は之れに先き
立ち御里大雲寺から一真如喜
樂居士の戒名を受けため方
へ送付せる等かねての覺悟と
見られてゐるが懷中に鋸鋸き
刃丁を所持せる點より爆発死
に失敗すれば其れを以て死を
遂げる心算であつたらしくと
めと勇は幸ひに無事であつた

遭ひ逸早く身(けて)下敷と
はならなかつたが通氣を絶た
れて窒息死し居るを同僚に
発見された

子(久)以上四一一名
看護婦科伊藤はな(廣野)
岩倉たみ子(浪江)橋本ゆき
(湯本)林千枝(神谷)長谷川
静江(四倉)萩原幸子(泉西)
山よね子(湯本)小野瀬つね
(平湯)渡邊操(湯本)加藤み
ち(四倉)大須賀きよ子(大
久)山崎あけ子(夏井)小銀
拾子(平)小松あや子(平
湯)遠藤とよ久(浪江)阿部
節子(平)阿部み江子(同赤
津)しま子(植田)佐藤ふみ子
(大久)佐川はつ子(湯本)佐
藤なほ子(赤井)馬上貞子
(草野)須藤たけ子(好間)鈴
木たか子(久の濱)藤沼いそ
子(平)金成かつ子(同)片倉
きよ子(久の濱)吉田せい子
(平)吉田富子(平湯)谷千か
ね子(大久)高久文恵(平)國
部さくら(草野)根津きよ子
(大浦)入平みよ子(小名濱)

清き一票に誘はれ

申告者二六一一名増

有資格八五〇無資格九二五人
總數では二一八名増加

平税務署が今秋の調査委員改選と申告趣旨徹底の両方を以て宣傳大に努めた所得税及び營業収益税の申告は昨十五日の締切りで郵便によるものは當日の消印あるものを交付することになつてゐるので大體明十七日同申告書を確定の管であるが今十六日の總數は無資格申告九二四人有資格の同八五〇人計千七百七十四人で昨年より千五百五十六人より二百十八名を増加し有資格の申告に於ては二百六十一名(昨

機業界の激變で中止

來平する前橋の團體

面目問題だど驛長眞つ赤になる

悲報に落膽する各旅館

或は普通列車で復活か

前橋市から二等列車の團體で二百餘名の來平あるを地元新聞にまたなき好機會として平介及び同町商工會並に平驛で各旅館その他と共に歓迎準備を進め来る十九日午後三時着の其日待つてゐる昨十五日夜前橋驛長から平驛長へ右視察旅行は一時見合せの通報に接したので後驛長を初めに旅に接し、新調したる旅館の落膽一方ならず驛長大に

石城産馬組合通

常總會

石城産馬組合では来る十九日午前十時から平町團休事務所内に於て通常總會を開催の管

賦課金の滞納整理

濱木炭に残る二千圓の難物

濱三郡木炭同業組合では明年度からの生産額を上げ増収その他により優秀な指導員の尊任を決し良品多産に邁進すべく總ての活動準備を整へて組合員に於ける從來の賦課金滞納整理に必死してゐるが去る一月現在に於て三千圓以上を算した同滞納額は漸く二千圓となり最も不成感な

困る者へ警女生

からの同情

平町役場へ今十六日警女生とのみで一圓五十銭の小爲替を平町左記の意を添えて氣の毒な人へ寄贈された

爆發薬で無理心中

覺悟の眞如喜樂居士

戒名まで受けた六十男の執念

内縁妻の道伴れば失敗

石城郡湯本町の八幡山炭礦元坑八八八山炭礦長屋居住長澤と夫田村郡岩井村の白岩宇大館(妻)方に至りともに會して二四三橋本忠士(妻)は昨十五日無言のまま所持の爆薬に雷管及び導火線を裝填して點火せんとしたので居合せたための

白鳥鑛泉で盗んだ

二百圓の金側時計

舞戻つた所を捕はれた賊

石城郡磐崎村の白鳥鑛泉(日(檢診)廿八日)及び二十三日(檢診)二十九日)に施行するが中の東京市流橋區角町石炭商若松新之助氏が座敷内に置いた金側時計(銀付)二百圓を何者か窃取され平署では同旅館に投宿して姿を消した

小島農事座談會

小島農事座談會

石城郡内郷村の小島農事實行組合では来る二十二日午後六時から組合長宅に農事座談會を開催するので郡農會から柴田接手臨席すると

定期種痘

平町の

来る廿二、三日

平町では定期種痘を来る廿二、三日

玉川村の米淡難

石城郡玉川村の島三六鈴木征

露方に於て去る九日夜自宅の物置に置いた白米二斗七升價七圓を窃取され其筋に於て犯人殿探中

石城産看婦校の卒業生

卒業生

平町一丁目石城産科看護婦校の卒業式は昨報の如く明十七日午後二時同校樓上で舉行されるが卒業生の氏名は左記の如くである

- 産婆科伊藤はな(廣野)猪狩富美子(平) 岩倉たみ子(湯本)橋本ゆき(湯本)林千枝(神谷)長谷川静江(四倉)萩原幸子(泉西)山よね子(湯本)小野瀬つね(平湯)渡邊操(湯本)加藤みち(四倉)大須賀きよ子(大久)山崎あけ子(夏井)小銀拾子(平)小松あや子(平湯)遠藤とよ久(浪江)阿部節子(平)阿部み江子(同赤津)しま子(植田)佐藤ふみ子(大久)佐川はつ子(湯本)佐藤なほ子(赤井)馬上貞子(草野)須藤たけ子(好間)鈴木たか子(久の濱)藤沼いそ子(平)金成かつ子(同)片倉きよ子(久の濱)吉田せい子(平)吉田富子(平湯)谷千かね子(大久)高久文恵(平)國部さくら(草野)根津きよ子(大浦)入平みよ子(小名濱)

小島農事座談會

小島農事座談會

石城郡内郷村の小島農事實行組合では来る二十二日午後六時から組合長宅に農事座談會を開催するので郡農會から柴田接手臨席すると

小島農事座談會

小島農事座談會

石城郡湯本町の三崎九五戸主長次五男同町入山炭礦坑夫浦田留吉(三)は去る十四日午後一時頃同礦第四坑山神下左九御石三片引立て作業中落盤に

小島農事座談會

小島農事座談會

御希望の方は午後一時より 本人御來談下さい

レストラン サロシ 電話三五二番

馬鈴薯の栽培法

栽培法

石城分場 矢ヶ崎課
次に切斷せる種芋と切斷せざる丸のまゝの種芋との比較であるが、芋は切斷せるものと一片の重量と其の重量に相當する丸のまゝの一個とに於ては、必ず前者即ち切斷せるものが收穫多きものである、故に中芋以上のものは切斷して使用するのである、假りに一個丸のまゝ十枚のものに二十枚の芋を切半して一片が十枚のそれと栽培比較すれば必ず後者の方が成績良好である之れは芋を切ることによつて刺戟を興へるため發芽促進し生育期間が永くなるためである、芋の切斷方法は必ず縦に二つ切り三つ切りとするのである、大芋は四等分する場合もある、横切りは收量少なく且つ生産された芋の大實の差が甚だしくなる傾きがある、要するに芋を切斷する時は芋の配置を見て芋を平等に殘す様に切斷すればよい、

三、種芋の播種、下種するに當り疫病、加皮病等の豫防のために栽培前に、三斗式石灰ボルドー液の内に二時間位種芋を浸し、又はホルマリン百倍或は水四斗に昇汞十七分を加へたる溶液に一時半浸漬後水洗ひして下種すれば以上の病害に對し相當の効果を擲ることができ、切斷せるもの又は内の一部を切り去つたものは必ず其の断面に煤煙または木灰を塗つて切り口より病菌の浸入する事を豫防しなければならぬ、

入院應需
藤沼醫院
電話五〇七番
紺屋町

貸手車
新規物を格安にお譲り致します
平谷
平町大町若松醫院隣

ランドセル
學生ボーン
女學生用手提カバン
小學生用 クツ

● 總皮ランドセル大型 ¥.75
● " 額大型 ¥.90
● 牛皮特撰ランドセル ¥3.00

ツルヤ
平町四 電一四〇

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町 電話二五八番

文部大臣認可
藤田女學校
生徒募集

● 本科一年 ● 裁縫専修科一年
● 専攻科 ● 師範科
● 本科二年、裁縫専修科二年編入

願書提出 三月三十一日マデ
詳細ハ 本校宛照會ノコト
場所 福島縣平町田町 電話三二八

産婆、看護婦
生徒(八十名)募集
今!入學の好時期
御希望の方は至急御申込みあれ
新學期は四月七日午前十時より

平南町
平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ
電話三〇七番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

石炭
コークス
豆炭

平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

生徒募集

非常時日本と婦人の職業
近代日本は婦人にも經濟の獨立を呼かけて参りました、婦人の職業として産婆看護婦と云ふ業は最も似つかはしい天職で有ます卒業年限、僅か一ケ年
開業すれば收益も多大で家内の内助ともなり家庭の人となつても直接役に立つのは此の産婆看護婦であります
戦争と日本婦人としての覚悟
一旦緩急あれば戦時看護婦として受ける母國への奉仕に努めませう

石城産科看護婦學校
平町一丁目 電話三五七
校長 鷹崎千代

磐城共濟病院 (電話一四六二)

院長 醫學士 石山謙郎
副院長 (毎日診療) 醫學士 五十嵐雄二

産婦人科 醫學士 有馬勇二郎
外科皮膚性病科 部長
科 耳鼻咽喉科 醫學士 山謙郎
科 光線科 醫學士 石山謙郎
科 瘰癧科 醫學士 高後利雄
衛生試驗所 醫學士 高後利雄

藥局 藥劑師 鈴木孝平
事務局長 鈴木實雄

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番

● 自炊の便あり

東神火災保險株式會社
東洋火災保險株式會社
東海火災保險株式會社
東日本火災保險株式會社
東洋火災保險株式會社

河田鐵工場
河田梅吉
營業所 福島縣平町七丁目
電話三二九番 二九五番
本社 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支店 仙臺市大町三丁目

煙突は
朝日
金屋商店

煙突は、朝日、金屋商店

店員、徒弟、募集廣告

小職員 五名
資格 年齢：十三歳より十六歳位まで
優待方法 學歴：尋常科卒業又は以上のこと
優待制度の外特別優待方法あり

徒弟 拾名
資格 年齢：十五歳以上二十歳以下
修業後の収入(ヶ月五十圓以上百圓位)
◎御希望者は至急御面談又は御問合せを乞ふ

和洋家具 製作販賣 設計請負
丸はん商店
製作所 平町新田前
電話一八二番